

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

- 1. 職名及び人員** 助教 1名
- 2. 所属** システム科学技術学部 建築環境システム学科 計画学講座
- 3. 専門分野** 建築計画分野・建築設計分野
BIMを活用した設計教育など建築のDX化に対応できる人材育成に貢献でき、かつ、当該分野の研究・開発に取り組みとともに、その成果を地域貢献に結びつける意欲を持ち、建築計画と設計に関する教育に熱心に取り組む方を求めます。
- 4. 担当授業科目** 主としてシステム科学技術学部及びシステム科学技術研究科が開講する下記の授業科目の担当を予定しています。
(学 部) 建築設計基礎(分担)、建築設計Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(分担)、キャップストーンプロジェクト(分担)、建築学研修(分担)、卒業研究指導補助 など
(大学院) 都市・建築設計(演習)(分担)、修士論文指導補助 など
- 5. 応募資格** (1)博士の学位を有すること、または着任時まで取得見込であり研究上の業績を有すること、あるいは、修士の学位、一級建築士の資格、及び建築設計の実務経験(3年以上)を有すること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
- 6. 採用予定日** 2025年4月1日
- 7. 勤務条件等** (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。)
(5)定年 67歳
- 8. 応募書類** (1)履歴書(本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式2*による。)学術論文は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。これに加えて、作品ポートフォリオ(様式指定なし)の添付も可とします。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注)*印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
- 9. 応募締め切り** 2024年9月18日(水) 必着
- 10. 選考方法** (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
- 11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先**
提出先: 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
TEL: 0184-27-2000(本荘キャンパス代表)、E-mail: tetsuya_nishida@akita-pu.ac.jp
※封筒の表に「建築環境システム学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
応募書類は返却しません。
問い合わせ先: 秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科長 長谷川 兼一
TEL: 0184-27-2046(ダイヤルイン)、E-mail: haseken@akita-pu.ac.jp
- 12. その他** 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf)

今回の公募で求める人材像

建築環境システム学科では、学科の研究教育方針に基づいて計画学講座の果たすべき役割と今後の発展を見据えた体制を鑑み、建築設計を専門とし、現在の構成員と協働して大学貢献や、都市・建築計画学分野の研究・開発や教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域についての具体的な人材像は下記の通りです。

[教育]

建築環境システム学科の教育カリキュラム上、計画学講座の果たす役割は、新たな社会ニーズにも対応できる都市・建築空間のあり方と、その実現に向けた建築計画技術の応用などの教育を行うことです。講座の一員として教育を行う上で、計画学の幅広い領域をカバーでき、特に建築設計の専門性を有して DX 等を活用した各種の設計教育と計画学教育に取り組むことができる人材を求めます。

[研究]

建築・都市の概念の拡張が進みつつある中、機能性や審美性のみならず持続可能な社会形成に寄与する建築計画学の研究が求められています。計画学講座では、空間から都市・地域に至るスケールにおいて、計画、設計、歴史、まちづくりなどの幅広い領域に対して社会科学の知見も応用して研究を進めています。その中で、特に建築計画・設計の分野において DX など技術の進歩に柔軟に対応しながら Society5.0 の時代をリードする研究に取り組み、大学のキャンパス将来構想計画にも関与できる人材を求めます。

[地域貢献]

計画学講座では、建築や地域や街を対象に市民、企業、行政と協働した研究・教育活動を展開しており、それ自体が地域の安全・快適や地域資源の活用、地域活性化に結びつく地域貢献となり、P. B. L. の取り組みともなっています。「キャップストーンプロジェクト」では、地域が抱える課題に対して産公学連携で解決に導くことが期待されており、専門的知識を生かして企業とともに地域貢献に積極的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

建築環境システム学科 大講座・グループ構成

2024.4

基本方針： 建築環境システム学科は、4講座体制とし、

- ① 建築学における主要な領域の総合教育を系統的に分担し、充実させる。
- ② グループ内での課題共有意識を高め、さらに境界を超えた研究活動を意識的に展開し、活性化を図る。

構造学講座

●建築構造学研究グループ

構造計画・設計、構造解析・評価、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、免震・制振構造
地盤・基礎構造

材料学講座

●建築材料学研究グループ

材料物性・耐久性評価、木質系材料・木質構造、コンクリート系材料・工法開発

環境学講座

●環境計画学研究グループ

環境設計、物理・生理環境評価、設備計画

計画学講座

●都市・建築計画学研究グループ

都市・地域計画、建築史・伝統構法、都市・建築設計、建築・施設計画
都市環境・情報システム